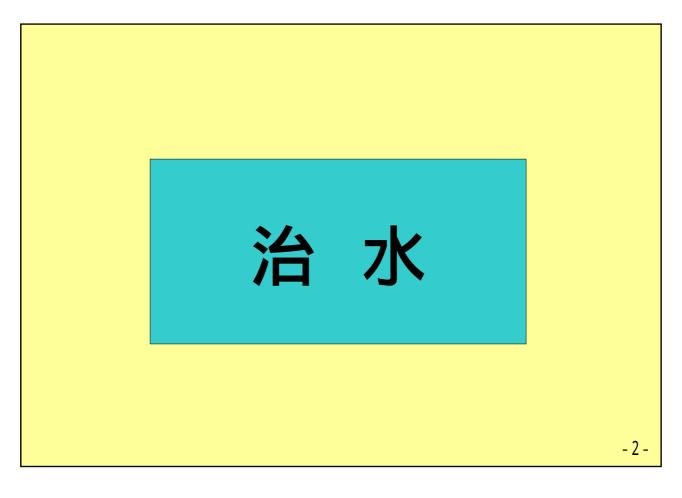
吉野瀬川ダムの治水・利水・環境計画について

平成16年7月10日



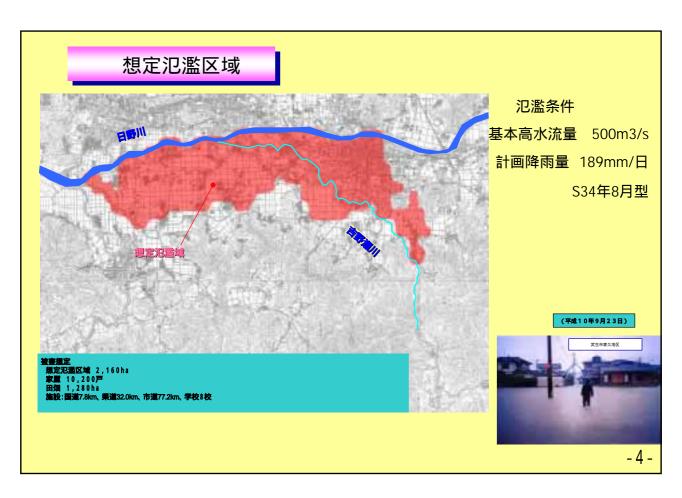
### 計画規模について

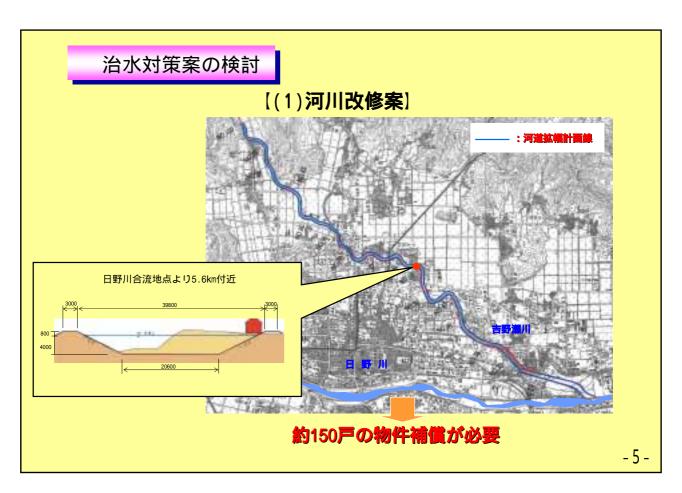
#### 「建設省河川砂防技術基準(案)同解説 計画編」による計画規模の目安

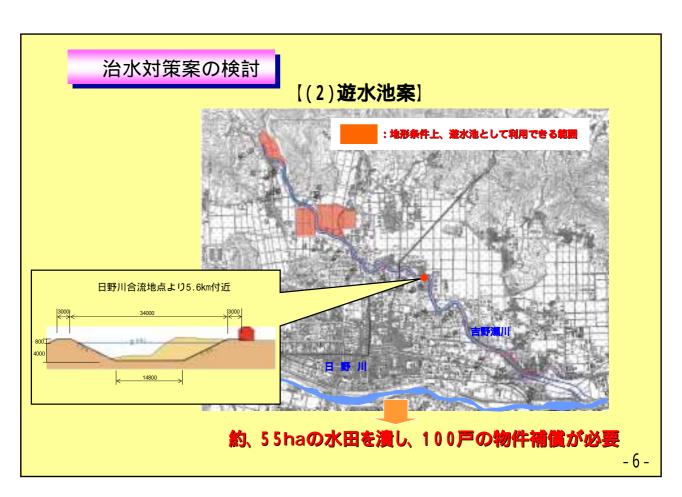
河川の 重要度	計画の規模 (確率年)	備考	
A 級	1/200年以上	1 級河川の主要区間	
B 級	1/100年~1/200年		
C 級	1/50年~1/100年	1級河川のその他の区間 および2級河川の都市河 川	
D 級	1/10年~1/50年	2級河川の一般河川	
E 級	1/10年以下		

1/70年確率で計画

- 3 -





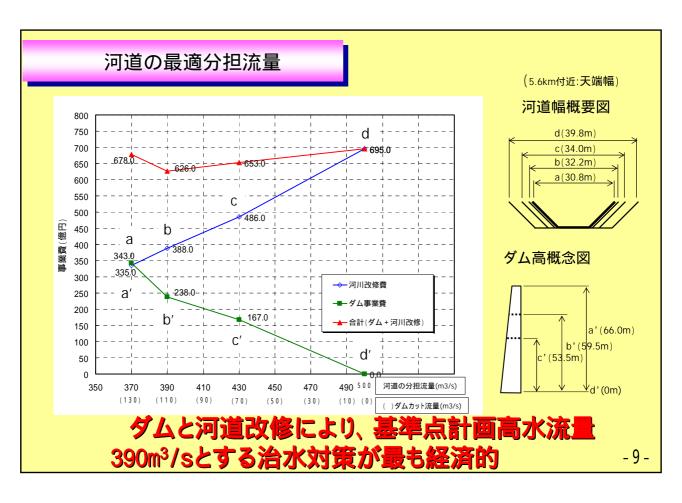




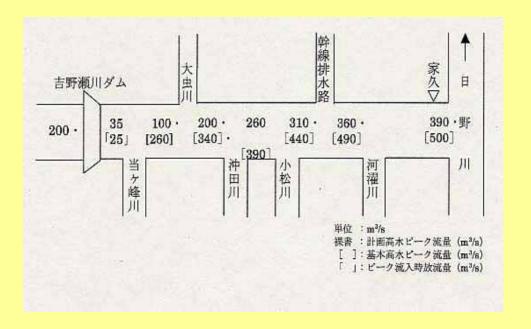
#### 治水対策の事業費比較

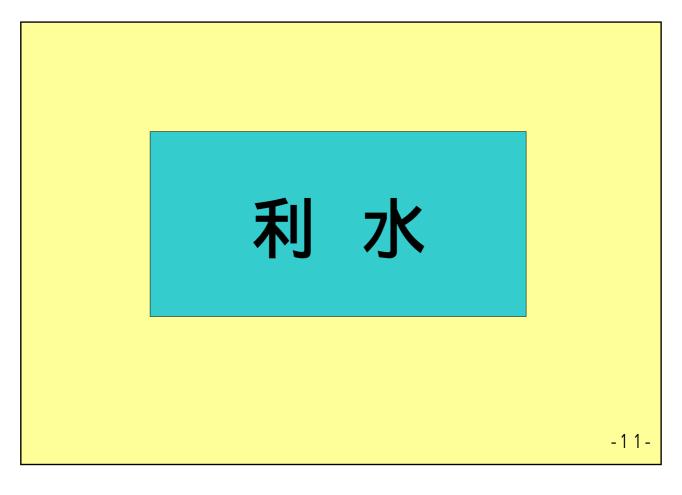
	(1)河道改修案	(2)遊水池案	(3)ダム案
河道改修費(百万円)	69,500	48,600	38,800
貯留施設(百万円)		27,600	23,800
計 (治水事業費)	69,500	76,200	62,600
c / c	1.110	1.217	

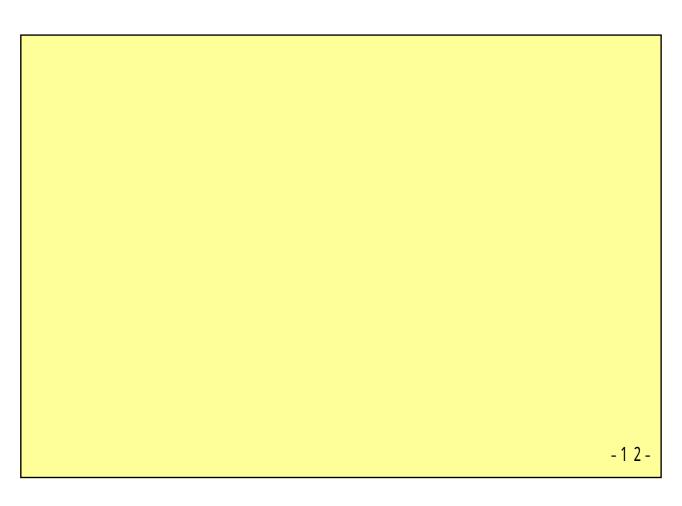
物件補償等、社会的影響が少ない(3)ダム案を採用



#### 流量配分図



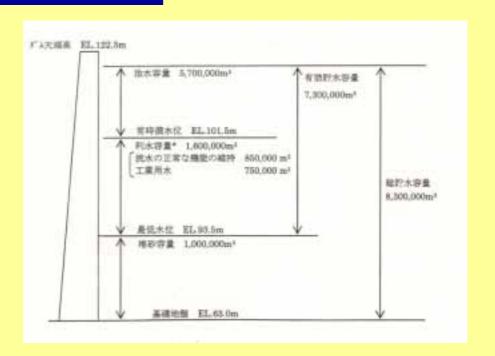








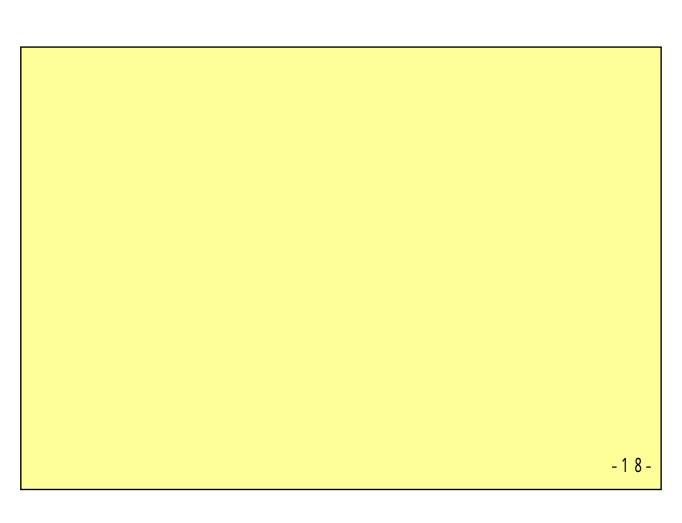
#### ダムの容量配分図



# ダムの容量配分内訳

治水容量	570万m³	治水基準点で500m³/sから390m³/s(ダム地点では200m³/sから175m³/s)に カットするために必要なダムの容量。
流れの正常な 機能の維持 容量	85万m³	吉野瀬川上流域(13.5ha分)のかんがい用水(最大0.060m³/s)と河川維持流量(0.22m³/s)を、10年に1度の渇水時にも確保するため必要となるダムの容量。
工業用水容量	75万m <sup>3</sup>	武生市、鯖江市、今立町の工業地域への用水として、〔日量8,300m³(0.1m³/s)〕を、10年に1度の渇水時にも確保するために必要なダムの容量。
堆砂容量	100万m3	100年間でダムに堆砂する容量。

# 環境



### 事業地周辺環境

項目	主な貴重種
植物	オオミズゴケ、キキョウ、イトトリゲモ、ヤマトミクリなど
鳥類	ミサゴ、オオタカ、クマタカ、ハヤブサなど
両生類	アベサンショウウオ、モリアオガエルなど
魚類	アカザ及びメダカ

#### 環境保全

#### 吉野瀬川ダム自然環境検討会

目的: 吉野瀬川ダム周辺における、自然環境と事業調和をはかるための

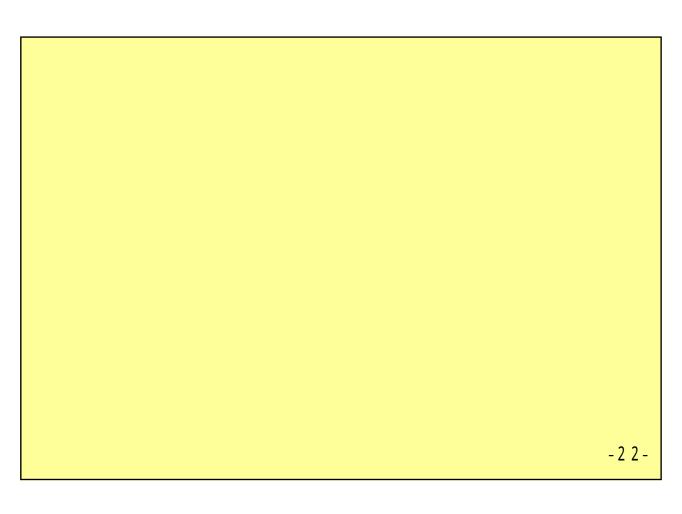
適切な対策について検討することを目的とする

構成: (猛禽類部会) 林 武雄 (財)日本鳥類保護連盟理事 ほか6名

(両生類・植生部会) 松井 正文 環境省RDB検討委員(京都大学教授) ほか6名

専門家らで構成する吉野瀬川ダム自然環境検討会の中で指導と助言を得て保全計画を作成し、対策を実施している

# 現在のダム事業進捗状況



#### 事業進捗状況

年 度	内 容	備考
H 3	建設事業採択 測量調査開始	
H 8	建物調査着手	
H 1 2	補償基準妥結(山林)	
H 1 3	付 替 県 道 工 事 着 手 補 償 基 準 妥 結 (全体)	
H 1 5	小野地区移転契約完了	
H 1 6	勝 蓮 花地 区 移 転 契 約 完 了	





# 付替道路工事状況



武生市広瀬町地係 起点側



武生市広瀬町地係 起点300m



武生市小野町地係 終点より300m



武生市小野町地係 迂回路(工事用道路)終点

-26-